血液内科

医 長 ： 牧田 雅典　　スタッフ数: 7名　（常勤医師 4名、レジデント 2名、専攻医1名）

「概要と特徴」

日本血液学会認定血液専門医を含む常勤医師4名とレジデント2名の計6名が入院/外来診療と指導にあたっている。血液疾患全領域の多岐にわたる症例が県内外より集まっており血液内科病棟において日平均55床、年間800人程度の入院患者数となっている。外来患者数も県内の診療所、病院よりほぼ毎日紹介患者がある。造血器腫瘍（急性および慢性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫）を中心に診療しており、県内でもトップクラスの無菌病棟（完全無菌室5床、準無菌室17床）を有し、積極的に造血幹細胞移植（自家末梢血幹細胞移植、同種骨髄移植、同種末梢血幹細胞移植、臍帯血移植）を実施している。

「初期研修の基本的方針」

○ 血液疾患の診療を通して内科全般の診療技術・鑑別技能を習得する
（貧血の鑑別、リンパ節腫脹、出血傾向など）。

○ 患者・家族との良好な関係を確立するためのコミュニケーション技術を修得する。

「研修予定表」

行　事	曜　日	時　間
病棟回診	火曜日	14:30～15:30
病棟カンファレンス	火曜日	13:30～14:30
血液・骨髄標本カンファレンス	木曜日（隔週）	17:30～18:30

「指導体制」

1年目	複数指導医制
2年目（自由選択期間）	複数指導医制

「経験可能な症例や手技」

【経験可能症例】

急性および慢性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群、再生不良性貧血、
血小板・凝固線溶系異常、造血幹細胞移植症例（骨髄バンク症例、臍帯血移植症例を含む）など

【経験可能手技】

末梢血・骨髄塗沫標本の観察、骨髄穿刺、中心静脈カテーテルの挿入、髄液検査など

「後期研修について」

1） 血液内科専属研修

3～5 年間（うち 1 年を上限として国内他施設への研修は要相談）。

下記を習得することを目標とする。

1. 血液の専門知識と幅広い臨床能力を習得する。
2. 専門医として血液疾患の診断を的確におこない、造血幹細胞移植等の高度医療を行う。
3. これから確立される腫瘍専門医を育成する。腫瘍の広い知識をもとに先端医療を行う。
4. 輸血医学に対して専門的知識を習得する。
5. 血液疾患に合併した感染症に対して専門的知識を習得する。

これにより、日本血液学会認定専門医の習得を目指す。

2） 内科ローテイト研修

当院内科後期レジデントとして、数ヶ月単位での後期研修を行い、下記を習得することを目標とする。

1. 抗癌剤、免疫抑制剤の治療、患者管理を習得する。
2. 感染予防を実践し、重症感染症での抗菌薬治療を習得する。
3. 輸血の安全で効果的な使用を習得する。
4. 臨床の各分野で遭遇する血液疾患に対する診断、治療方針を理解する。

これにより日本内科学会総合内科専門医、がん薬物療法専門医などの取得を目指す

「研修責任者よりひとこと」

血液内科は分子標的治療など新規薬剤の導入および造血幹細胞移植治療の進歩もあり、飛躍的に治療成績が向上している分野です。造血器腫瘍はこのような治療が効果的な疾患であり、劇的な改善を得ることができます。実際に体験していただいた研修医の方々の中で、非常に感動し興味をもち、血液内科の道に進んだ方もいらっしゃいます。血液内科は内科系の中では全国的に人手不足で専門医も老齢化していますので、若い人たちがたくさん関わっていただければありがたいと思っております。皆さんと一緒に診療できることを楽しみにしています。

研修希望時には下記に連絡をお願いします。

血液内科医長　牧田　雅典（まきた　まさのり）